

核兵器委のない世界へ、新たな行動を 「核の傘」一、戦争しない日本を

3・1ビキニデー集會に 長崎から4名参加

核兵器のない世界へ新たな行動を 被爆者が国際署名よびかけへ

長崎被災協 横山照子さんの訴え



みなさんこんにちは 長崎から参加しました被爆者の横山照子です。
被爆者の平均年齢が80才を越しましたが、あの日の地獄の出来事、その後の苦しみを忘れることはできません。被爆者は、いまも苦しんでいます。
私たち被爆者は、この苦しみを自分達の子供や孫、世界中の子供や若者、すべての人々の上に、繰り返してはならないと、ビキニ事件をきっかけに、日本中・世界中の人々から、支えられ、立ち上がってきました。

私たち被爆者は、核兵器を一発とも、この地球上に置くことを許しません。
一発とも残してはならないのです。核兵器を使わせないためには、核兵器を禁止する条約を、つくる以外にないのです。
いまでも危険で、不安定な国際状況です。世界の人々の核兵器廃絶の署名で、核保有国を孤立させ、包囲し、迫りましょう。

核兵器のない世界の実現を願って運動し、無念のうちに亡くなって逝った、多くの被爆者の顔が、一人一人私に浮かびます。その方々の魂が、いま、私たちの背中を押してくれています。亡くなった人達の方まで、いま、私たち被爆者は、最後の力を振り絞り、広くさまざまな人々と繋がった、壮大な国際署名運動にしたいと思っています。
早速、長崎被災協では、マレーシアの元首相マハティールさんに、この署名の賛同人になってくれるようお願いしています。

被爆者の心からの願いです。青い地球を未来に残すために、被爆者と共に、皆さん立ち上がって下さい。がんばります！！ がんばりましょう！！



新たなステップを築いた被爆70年の原水爆禁止運動の前進の中で開催された2016年3・1ビキニ集會。

被爆者が「生きていながら核兵器をなくしてほしい。再び被爆者をつくらないでほしい。そのため今年核兵器をなくす国際署名を世界の人々に訴える。」と今準備されている署名の賛同を発言、核兵器のない世界への新たな行動のイメージが湧く集會になりました。長崎からは4名参加し、29日の「国際交流会議、29日の原水協集會、分科会、1日の墓参行進・墓前祭、ビキニデー集會と忙しい行程でしたが運動の原点の集會から多くのことを学びました。

3・1ビキニデー集會アピールは

2015年NPT會議に、日本の原水爆禁止運動が世界の反核平和団体と共同して提出した633万の「核兵器全面禁止のアピール」署名は、核兵器禁止の流れを大きく励まし、非人道性を告発する世論の高まりの中で、核兵器禁止条約は、いまでは国連でも圧倒的多数の国の要求となっており、国連総会で核兵器のない世界を実現するための法的措置を議論するための作業部会設置を決めるなど、大きな変化をつくり出したこと。
同時に、核保有国や「核の傘」に依存する一部の国は、なお「核抑止力」論に固執しつづけており、これを打ち破り、乗り越える大きな課題あること。

1954年、ビキニの水爆実験への抗議の中から生まれた原水爆禁止の署名運動は、核兵器廃絶の世界的な流れを創りだしてきたこと。同時に、日本の核武装と改憲の危険な動きの前に立ちふさがり、非核平和の日本のために大きな役割を果たしてきたこと。安倍政権が狙う改憲と「戦争ができる国づくり」を許さない圧倒的な世論を築くため、今ますます重要となっていることを明らかにし、ビキニデーを跳躍台に草の根から立ち上がろうと下記の行動提起。

- ◇ 被爆者とともに「核兵器全面禁止を求める」声を、国連本部に届けましょう。
- ◇ 被爆写真パネル「原爆と人間」展を全国各地で開催しましょう。
- ◇ 戦争法廃止2000万人署名など、草の根の行動を大きく展開しましょう。
- ◇ 核兵器廃絶の願いで結ぶ平和行進をすべての自治体につなぎましょう。
- ◇ 原発の再稼働に反対しましょう。福島第一原発事故の被災者を支援し、放射線被害を根絶しましょう。原発ゼロと自然エネルギーへの転換を要求しましょう。浜岡原発の再稼働阻止を求める運動と連帯しましょう。
- ◇ 安保法制(戦争法)廃止、「戦争ができる国づくり」を許さず、憲法9条を守り活かしましょう。
- ◇ 広島・長崎の被爆者、ビキニ被災者、世界の核被害者と連帯しましょう。ビキニ被災の全容解明を求め、被災者への支援を強めましょう。
- ◇ 原水爆禁止2016年世界大会を大きく成功させましょう。



チェルノブイリ30周年バルト諸国訪問代表団 長崎被災協 田中重光さんが決定 派遣募金に協力ください。(2016年5月5日~11日)予定

チェルノブイリ事故30周年にあたり、ロシア医療基金「われらの海岸」のよびかけに応え、日本原水協は、福島代表や広島・長崎の被爆者、平和活動家から成る代表団をロシアとトビアへ派遣します。被爆70年の運動の成果の上に、被爆者とともに核兵器がもたらす非人道的な結末を国内外でさらに広め、核兵器全面禁止・廃絶の世論を高める海外での実践です。